



アンサンブル



2021 No.9

「好き」というパワーの源

昨年の今頃、「鬼滅の刃」が社会現象になっていました。

このアニメに出てくる登場人物の名字は全て実在するらしいです。読めるかも知れないけれど書けないものも多くあります。これを中学年や低学年の子どもたちの中には書ける子もいるのです。名前や漢字、技の名前を知っていることが他よりも優れていることとみなされ、知っている子どもたちがどんどん広がっていきます。興味をもつこと、好きなことがもたらすパワーってすごいですね。私たち教員もいかに教科の学習に興味をもたせられるか、頑張りどころです。大人のみなさん、もし子どもたちから鬼滅テストを出されたら、何点ぐらい取れるでしょうか。「柱」と呼ばれる剣士たちのリーダーの名前ですら、絶対無理と思ってしまう。

ところで、小学校2年生の算数では「九九」に取り組みます。「いんいちがいち」から「くくはちじゅういち」までのとても長い呪文を暗記します。私たち大人は経験者ですから、頑張れば覚えられることを経験を通して知っています。でも当の子どもたちは「本当に覚えられるのだろうか」と疑いながら取り組んでいるかも知れません。子どもにとっては、私たちが「柱」を覚える以上に難しい作業なのだろうと思います。でも子どもたちは、乗り越えていきます。そこには、お兄さんお姉さんでもできるようになった。友達も頑張っているという安心感。そして、3の段と4の段が覚えられたという自信をもって、6の段からの更に厳しい呪文に飛び込んでいきます。困難なことに飛び込める勇気と自信は、一緒に頑張り合える仲間がいるからこそ得やすくなるのだと思います。「鬼滅の刃」の主人公である未熟な少年剣士たちが、仲間とともに「かんばれ自分」「かならずできるはず」と自分を励まし困難を乗り越えるところも、このアニメの魅力なのでしょうね。

自分の命は自分で守る～避難訓練

11月4日(木)、火災を想定した避難訓練を行いました。ハンカチで口を押さえながら、避難経路を通して運動場に避難します。その後、児童会役員と教員が消化器を使って初期消火訓練をしました。消防署の方から「火を消すよりも命を守ることが一番大事」と教えていただきました。



本に親しもう～1・3年生読み聞かせ

11月5日(金)、3年生が1年生に読み聞かせをしました。3年生の子たちは、登場人物になりきって声色を変えるなど、工夫していました。1年生の子たちも真剣に聞き入っていました。他学年との交流で、頑張る姿を見せ合うことは、とても素敵なことです。